

岐阜県立岐阜聾学校で防災講座を行いました

令和8年10月20日（火）、岐阜県立岐阜聾学校の小学部17名・中学部19名・高等部6名に防災講座を行いました。当日は命を守る訓練の日で、講座後には避難訓練が行われていました。この学校での講座は今回で4回目です。

講座では、岐阜市でも被害のあった伊勢湾台風や今年が発生から50年の節目にあたる9.12豪雨災害などの学習や、映像・VRによる浸水疑似体験を行いました。体験後には、映像のように被害に遭うことがないようにレベル4までに全員が避難することを、「あつ森」の避難学習動画の視聴を通して確認しました。

また、伊勢湾台風A I 語り部との対話体験では、小学部の児童から「一番大変だったことはなんですか」「伊勢湾台風はどこで発生しましたか」「たくさんの被害が出た場所はどこですか」などの質問があがりました。中学部・高等部で行った水防災A I カードクイズでは、グループ内で話し合いながら回答を決め、避難行動などへの理解を深めました。

今回の講座が、児童・生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

